

砺波カイニヨ倶楽部会報

第二十号

平成十三年十月発行 発行者 砺波カイニヨ倶楽部 代表幹事 柏樹直樹
事務局 富山県砺波市表町七二十五 TEL 0763/33/6588

天野一男建築工房内



『旧家の広間で展覧会』

【四十名が観賞】

八月十二日(日)ケヤキの大木のある中島金二郎さん(砺波市五郎丸)宅を会場に、展覧会を開きました。

中島宅は、ケヤキとスギを中心とした豊かな屋敷林に囲まれた旧家。その「ワケの内」の広間と座敷を展示場として使わせてもらいました。

作品は屋敷林や砺波地方の風物を中心としたもので、中谷壮美さん、氷見長徳さん、五島通弘さんの三人の会員からの出品。中谷さんは日本画と版画、氷見さんは洋画、五島さんは写真で約三十点が展示されました。

一日の展覧会でしたが四十名余りの観賞者があり、当日の様子を富山新聞が報道しました。



会場の中島邸全景



鑑賞者もくつろいで

広間で来訪者にお茶とお菓子を接待しゆつくりくつろいでもらいました。

又、終日中島さんも広間で来訪者の「いつ頃建てた家か」「管理はどうしてみえるのか」「家の歴史は」等の質問に気楽に答えられ、協力頂きました。

当日は邸内の散策もできるようにし、母屋の南から西側の木に樹木名も取り付けました。

《鑑賞者の感想》

「良い企画だ。屋敷林にこだわった作品を中心としたことも良かった。二日〜三日間展示できるようにしてもらったらどうだろうか」

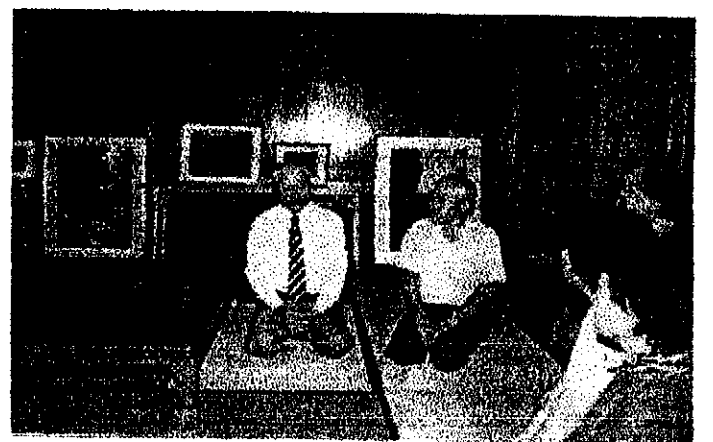
「もっと宣伝して沢山の人のこうした機会に触れてもらうことです」

「旧家を見せてもらい良いくつろぎになりました」

「作品についての話も聞きたい。作者もおいでたほうが良かった」

「一日では短い」

「会場を貸して下さる家のこともあり、良いことだが続けることは大変だ。こうした場を作ってもらふことは結構なことだ」



中島さん(左)と柏樹代表幹事(右)

先日、こんな行事提案のハガキが届きましたので紹介したいと思えます。

個人的な好みとして

一、庭掃除 (日頃の運動不足解消。私にとってのカイニヨ体験。カイニヨのために貢献できたかなと思える満足感)

二、大きな木の見学会 (昨年春、神社の大木を見て感動でした)

三、写真撮影 (自分の空いた時間に気軽にできるのならいいのです
が・・・)

四、庭木のせんでい体験会 (切られてしまう木等を利用して)

◆ ◆ ◆
皆さんもご意見アドバイスを気軽に送って下さいね。

『農業・農村の未来像を探る』

—食糧と環境の新時代シンポジウム—で報告

八月七日、東京都新宿区の日本青年会館でシンポジウム「食糧と環境の新時代」が開かれ地域の活動事例として「カイニヨ倶楽部の活動」を報告した。

主催は全国土地改良連合会でNHKが共催しその模様を後日教育テレビで放映された。

参加者約八百名が食糧と環境を考え、農村の未来像を探った。

シンポジウムの前段に全国から四県（沖縄・長野・山形・富山）の事例を報告した。

紅芋掘りツアーによる都市住民との交流（沖縄）、環境や景観を守る棚田保全運動（長野）、サクランボ生産者と都市民の連携（山形）、そして屋敷林（カイニヨ）の保全継承を目指す民間活動の取り組み（富山）などの活動をスライド等を通し報告した。

尚カイニヨ倶楽部の報告は柏樹代表幹事が行った。

本番のディスカッションでは経済評論家の内橋克人氏、宮城大学のアン・マクドナルド特任助教授、くすのき自然館（鹿児島）の浜松奈鼓副館長、東京農業大学学長の進士五十八氏が生態系に配慮し

た農業・農村整備事業の在り方や、住民参加による地域作り等で意見交換した。

内橋氏は「競争を重視する小泉政権の構造改革によって、日本農業不要論が台頭しかねないので、農村の理論武装が必要」と主張した。

進士氏は「ドイツの「わが村は美しく」は、手段ではなく目的そのものである。

例えば東京の「次大夫堀復元」の意味するものとして昔の農業用水の役割を後世まで伝えること、それを地域の人々が質から受け止め管理すること」と強調した。

■活動内容がNHK教育テレビで再放映■

平成12年10月29日に、林梅夫宅でカイニヨの中の生き物の生息を勉強いたしました。その内容が、NHK教育テレビで放映されましたが、今回、再放送されます。

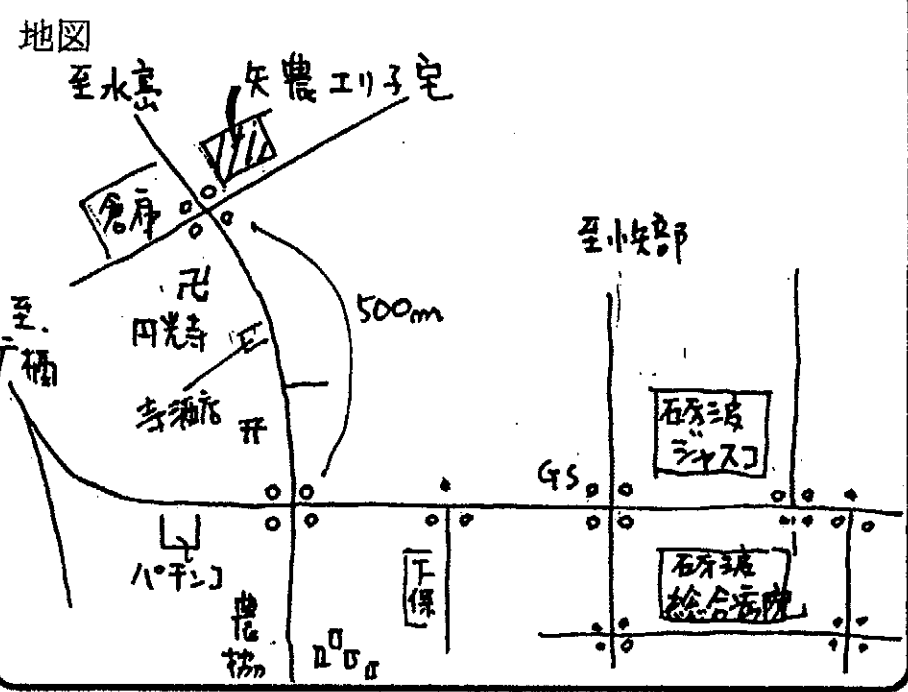
日時は、

11月29日（月）	午前11:45～12:00
30日（金）	午前11:30～11:45
12月3日（月）	午前11:45～12:00
7日（金）	午前11:30～11:45

◆行事案内1◆

「カイニヨの掃除」

- 日時 11月10日（土）午前9時から12時まで
雨天決行 ぜひ参加して下さい。
- 場所 矢農 ユリ子邸 砺波市神島975
- 費用 200円/一人（当日会場にて集金）
*服装は、長袖・長ズボン・軍手・長靴などでお越し下さい。
また、カマ・み・ホウキなどの用具をお持ちの方は持参してください。
*昼食に、おにぎりとお汁を用意いたします。



◆行事案内2◆

「田園空間博物館構想についての勉強会」


現在、砺波地方の散居村を残すために自治体が計画している構想です。

当倶楽部で以前に勉強会を開催いたしました。よりよい計画になるよう三度、場を設けました。意見を述べ合う有意義な時間になればと思います。

記

- 日時 12月1日（土）午後1時30分より3時
雨天決行
- 会場 中島家（砺波チューリップ公園内）
- 費用 200円/一人（当日会場で集金）

◇ ◇ ◇
お茶と軽食を準備いたします。
お気軽にお越し下さい。公園の樹木も大きくなりましたよ。



連絡先 事務局 天野まで 0763-33-6588
携帯 090-9444-8655

